夕刊
磐城新聞
七月二十一日發行
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五五六五番

## 天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩も明日も南の風曇後晴

## 父を亡へる陽の爲に

（上）

高瀨勝男

黄昏れる、こゝはお花畑小さい虫共は夜の床に入り始める

私達が夕餉のたのしみに憩ひするこの一刻、騒音もなく、誰かは遠く夢の跫音をきくことだらう！

陽は疲れて歸つた、今日も無事に過し得た心の滿足わが定めた家庭には、節がくると次々に咲く花があるそして疲れて憩ふる、わが机上に挿んだ手近の一枝を挿した、勤勞のたのしさは渇して得た甘泉の如く、しみじみ味へるのだ

家郷を離れて、孤々職場に働いてゐる陽には、すこしの不服もなく毎日きまつた時間につとめ、きまつた時間に歸る、凡その慣れたまゝの機械的日課でありながらそのなかに生き甲斐を發見してる如きであつた

幾人もの兄妹逵とともに羨やまれながら兩親の保育に成長しすきな道を拓いてゐる、陽はしあわせであつた

陽は突然、父の危篤に逢ひ、驚愕と焦心に歸郷したそしていま父を考へ、己の幼時が仄くとき、臨終の間に會はなかつた不覺が止めない涙と還つてくるのだ

綻びかけた大暦に一變でい、音色なきか、恨むばかりだ

代々の家柄も父の代には他人の爲に傾きかけた柱を貧乏は決して恥しくないと力みながら兎角にもさゝへた意地、次々に見限つてゆく人の世の絆にたつた父

最近になつて捨我隱忍の求解心は、僧侶の境涯をよてもうらやんでゐる如きだつた、それもこれも忽ちすれば、きのふの笑顔これが最後

親と子の間、陽は生命の不住不則な子を悟りするといへども、生者必滅の律にから構へする肉親なる愛の執着からあまりに、もろい生命なりと思ひもないわけにはいかなかつた

南無、合掌して諦めきれないものが□ことだらう、風吹いて、草木がなゐ雨ふる前に必ず、もよほしやを、雲の去來しきりなり

## 飛機神風（其の二）

珠雲　小野務平

歐米飛機勿謂魁
皇州技倆亦神哉
聲名今日冠天下
翔破雲程萬里來

## 講談　妖刀流轉（ようとうるてん）

（145）　邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

流轉又流轉（十）

斬れさうだ〳〵と云ひながら、いきなり例の一刀を大上段にふりかぶつたからこれは淸兵衛の驚くのに無理はない。思はず聲を上げて逃げ出す途端に、入口の敷居につまづいだから、一ト堀りもなくその場にドタリと打倒れた

この物音を聞きつけたものと見へまして、驚いて臺所の方から飛んで參りましたのは、中川方の召使おろくといふ老婢、この體を見ると青くなり

老『アレ若様お危ない、何を遊ばします、お氣を確にお靜め遊ばしませ、誰がこの樣なものをお渡しました一寸人が來て話をしてゐる間にマア飛んでもない、お氣が確でない若様にこのような危い物を渡すなんて、何者が致しましたかお危なふ御座います、若様アレ〳〵お危ない』

と老婢が夢中に刀をもぎ取らうと氣をもんでゐる、漸く起上つた淸兵衛がこれを聞くと慄へて了つた

何だい此人は狂人なのか道理で先刻から樣子が可怪しいと思つてゐた、さうと知つたら刀なんぞを何んと云はれても渡すのぢやア無かつた、大變な事になつたと一同吃驚したが、狂人に刄物、このくらい危險な事はない、況んやこの刀は因緣つき、普通の人間でもこの刀の爲めに殺伐の氣が起つて、鞘を出れば血を見ずには納まらないといふ位の惡刄魔劍だ、その物凄い刄の光を見て狂人の新太郎ます〳〵精神が興奮いたし、老婢が止めるのも聞かばこそ、押のけ突のけ、かの妖刀を從横無盡にふり廻し、

新『試し斬りだ、試しものだ、その男を斬らせろッ』

と暴れてゐる、とても老婢一人の力では止め切れません、金切聲を振絞つて

老『アレ危ない危ない、誰か來て下さいよう』

と怒鳴つた。生憎主人の新左衛門も留守、老婢が氣をもむのも無理はありません、淸兵衛の方は度を失つて、戸外へ飛出した儘立すくんでゐる、すると此聲を聞つけて、台所から玄關の方へ廻り、走り込んで來たのは今まで台所でこのおろく婆アさんと話をしてゐた若い男

これは誰だといふと前回申上げた白子の在の與四郎で、向疵の熊吉とは兄弟分百姓の家に生れながらも身を持崩して遊び人になつた道樂者だ、おろくは同村の者で知り合のところから、時々訪ねて來るのだが、それも大ていは小遣ひの無心だから、おろくの方でも餘りいゝ顏はしない。今日も勝手口へ尋ねて來て話をしてゐる所へ此騷ぎ

おろく婆アさんがけたゝましく呼立てたので、何事かと驚いて戸外へ廻つて見ると此始末だから。與四郎も吃驚したが、豫て新太郎の氣が觸れてゐる事は知つて居ます、それが刄物を振廻してゐる、これは大變と土足の儘、玄關へ飛上つて背後から新太郎へ組ついて抱止めようといふ了見

バタ〳〵ッとそれへ近づいた時に新太郎、與四郎が組づかうとする所を、ヒラリ體を交しながら、エイッと叫んで斬下した

何かは以て堪りませう、與四郎は肩先から無殘にも斬り下され、キャッとばかりに打倒れる、それが眞に電光石火、目にも止まらぬ一瞬間の出來事だから、おろく婆アやはアッと驚きの餘りヘタ〳〵と腰をぬかして了つた

道具屋淸兵衛もう堪らない、ウワッと叫んで、こけつ轉びつ、命から〴〵逃げて行く

途端に歸つて來たのが新太郎の父親中川新左衛門でこの體を見て愕然とした

## 7月22日

△豐臣秀吉母の急病に名護屋より京都に向ふ（天正二〇）△佐久間象山幕府に海防意見書を出す（安政四）△アメリカのポスト世界早廻りに成功（昭和八）

## 金魚、灯蛾

○あかき尾を垂れて金魚はまどろめる　瀨尾はやみ
○灯蛾とんであかときちかき窓となる　志賀あをみ
○こぼれくる灯蛾をはらはず書きつゞく　端山ゆり
○あか〳〵と稻田のはての雲燒くる　本田白羊
○よしきりの鳴ける小さき驛なるよ　湯山翠

## 平七夕前奏曲

篠　宗

（1）
ヤアー
つぼみ　ふくらんだ
七夕柳
來月十二日は
眞盛り
ソレ
ホントだ〳〵
花が咲く
柳の花を
見においで

（2）
ヤアー
平七夕
自慢の一つ
皆んな
來て見よ
腕比べ
ソレ
ホントだ〳〵
腕比べ
日頃の腕の
見せどころ

（3）
ヤアー
年に一度の
樂しい逢瀨
星の
世界ぢや
照坊主
ソレ
ホントだ〳〵
照坊主
照る〳〵
坊主
雨降るな

廣告

初夏の氣分と行屆いたルームお出をお待ち致します。
珈琲とグリル　御食事　バッカス　電七〇二
女店員募集　全部給料制度　品位良き方を望む　經驗無き方も良し

東西會社の新商品　石鹸　歯磨　歯刷子　連鎖店にあり
良い電球は※眼の護り※
國産　トウランプ

おでん　一平（イッパイ）　電話二六三番

酒とマヅイ　おでんの榮ちやん　平市田町花ノ里　電話三三番

平市南町　大和田醫院　電話一七〇番

平市田町　高久病院（電話五三一番）
醫學士 高久忠　新潟醫學士 赤羽清　藥劑士 佐竹菊雄
内科　外科　小兒科　耳鼻咽喉科　花柳病科　レントゲン科

吉田眼科醫院　醫學士 吉田久雄　平市紺屋町　電話六八番

開店
眼鏡專門の店
七月六日より開店致しました
自覺視力試驗の設備もあります。
御自由に御試し下さい。
各眼科處方調製
メガネ專門　平市二丁目　玉屋眼鏡店

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭　大袋 五貫匁入 金七十五錢也　小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入）金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番　平驛前　阿部石炭店

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社　代表者 强口唯七郎
自動車部　電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

ほねつぎ
桑原柔道整骨院　平市公園下　電話六七四
神經痛＝オレンヂ　リウマチス＝パスタ

◎社員招聘◎
一、社員　拾名
拾九歳以上六拾歳位迄にして身元保證人ある方詳細は履歴書持參面談の上月收は約五拾圓内外
一、事務見習　參名
十七歳より二十三歳位迄身体健康住込みの者給料手當は面會の上決定す
右は經驗の有無に不拘直ちに採用す。
平市田町（世界館側大通り）
シンガー裁縫機械會社

夜間診療
胃腸　性病
内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
胃腸性病科　松村醫院（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

難波醫院
内科　小兒科
入院應需　自炊の便あり
平市大町　電話五〇二番
（看護婦見習、看護婦募集）
醫學博士　難波睦

常に味を誇る―
サンマーニュース
た暑さの砌り皆々樣御機嫌お伺ひ申上ます……。
弊店が今夏より
アイスクリームを始めます。
フランス風（純良クリーム使用）
ナポリタンアイスクリーム
の上品さを御賞味下さいませ。
廿二日賣初め　御一人樣　十五錢
配達は迅速に致します。
おみやげ用として三人樣入
美しいホームパツクも御座います。
平市銀座通　松月堂　お電話二〇六番へ

土用丑の日大賣出し
榮養の素　味覺の醍醐味
丑の廿五日には定評ある『魚榮』の『ウナギ』を多少に不拘是非御用命御願致します。

大蒲燒　うなぎ丼
（出前迅速）
うなぎ　魚榮　電話四二四番

暑中御伺ひ
丑の日大賣出し
毎度御引立を蒙り難有奉謝ます
吉例により二十五日（土用丑）大勉强大賣出し致します
大蒲燒　うなぎ丼
（出前迅速）
松本樓　電話一一三番

吉例土用丑
牛肉大賣出し
二十五日土用丑
滋養豐富な牛肉を是非
平市田町　石川亭　電話四十三番

# 総數十四萬筆に上る 土地賃貸價格を檢討

## 昨日各市町村の調査委員決定

## 選擧無風地帶

平稅務署管内土地賃貸價格調査委員選擧は既報の通り昨二十日各市町村一齊に執行、その結果早きは當日午後三時大浦村を皮切りに十二、三ケ町村が態々使を以て報告し來り遲きも大抵今二十一日の一番便にて報告書が到着した。現在判明の當選者次の如く、その大部分が町村長と今回の下調査に當つて囑託した調査囑託員で其れ以外は殆ど無い

而して調査會は大抵來月初旬開會、一ケ月の會期中酷暑の折柄であり能ふ限り短縮を圖るものと豫想さる

（平市）總投票五三一 無効一 （當選）一七三山崎潤三 一六八松崎松治 一六七諸橋久太郎 飯野村伊藤淺之助 鹿島村高萩一枝 豊間村鈴木藤治郎 高久村薬谷義長 神谷村佐藤庄太郎 草野村芳賀辨之助 大浦村酒井良平 四倉町菅波千之助 大野村中野幸平 赤井村松崎松太 下小川村柴崎佐之吉 川前村永山忠二 三阪村熊谷長一 永戸村合津忠男 好間村叶多清 內郷村沼田濱之助 湯本町橋本茂內 磐崎村大和田隆介 上遠野村荒川與市郎 入遠野村鈴木爲吉 川部村小野倉平 勿來町小松彌次郎 山田村秋山藏之介 植田町鶯滑昇 渡邊村高木義枝 泉村江尻博孝 小名濱町高木保 夏井村渡邊泰衛

ゐる

# 棄權八割內外か

## 平市は千六百餘名中 三割の五百三十名が投票

今回の土地賃貸價格調査委員選擧は昨報の通り寧ろ取り合ひ無い迄に無事平穩に過ぎ市郡下十四萬筆の地租納稅者が悉く有權者なるに拘らず、平市の千六百餘名中僅かに其の三割（棄權七割）に過ぎぬ五百三十の投票あつたを最高に 二六九湯本町 二二八大野 一八〇好間 一五九植田 一五七小名濱 之に次ぎ少い處では豊間の八票と云ふのがあつた。尙は候補者數は必にも無き人が投票されたものや自選と見るべきものを合せ 平市九名 湯本町七名 四倉 下小川各五名 等が多い方であり、尙ほ全体から見た棄權率は詳細不明であるが恐らく八割內外に上るものと豫想される

町では今秋九月漁港完成と併せて盛大な竣功祝賀式を擧げることになつて

# 近代的建築樣式で 明春三月末竣功

## 公會堂 けふ地鎭祭執行

平市が工費八萬餘圓を投ずる公會堂建築工事の地鎭祭は二十一日午前十時から仲町地內元博覧會跡敷地に於て祭主山部神官、靑沼市長代理、市會議員其の他關係者列席の上執行した、公會堂は和洋兩式を兼ねた近代的なもので明春三月末竣功、新興平市にふさはしい威容を備へる

これが基礎工事は六千五百八十八圓で堀江工業株式會社が請負ひ來月上旬完成後愈よ本工事に入ると

# 四倉上水道

## 愈來月から通水

既報―工費十四萬圓を投じ昨夏來工事中であつた四倉町の上水道は此程完成、通水試驗の結果成績良好なので來月一日から通水の運びとなつた、目下給水申込みを受付けてゐるが十月末までは設計手數料及び給水料を免除する外、邸宅內給水

# 郵便從業員養成所開設

仙臺遞信局では郵便從業員を養成する爲百四十人を年二回に募集する事となり第一回を近く募集するが、入學試驗は九月上旬の見込で八ケ月卒業年齡滿十六歲以上二十歲迄の男子で高等小學校卒業程度の入學試驗に合格した者で卒業後は局管內の一、二等局及特定三等局に配屬する

# 植田水電配當年八分

## 依然堅實方針で進む

一部營利會社に有り勝ちな當面の增配よりは寧ろ固定資本の減價償却等に重きを置き、終始株主本位の堅實な方針を以て進んでゐる植田水力電氣株式會社では一昨十九日第三十五期定時株主總會を開き今期利益金處分案其他を附議したが今期成績は前期繰越及當期利益金八萬四千百九十二圓二錢で年八分の配當である

。。。。。。中村配屬將校講演 中村磐中、平商配屬將校は二十一日磐署の出署日に際し午前十時から同署會議室で署員一同に時局講演を試みた

。。江名町。。 作內町長外町議は二十二日双葉郡木戸村を訪れさきに列車バス衝突事件で應援を受けた消防組、靑年團に謝意を表する

# 晴の日は愈よ來たぞ 行けよ！我等が選手

## 磐中 平商 縣下中等体育大會へ

母校の名譽を擔つて若人の跳躍する日―縣下男子中等學校体育大會の熱戰の絵卷は愈よ明後二十三日から華々しく展開される、過去一ヶ年の永きに亘つてけふの日を目標に練習を積んで來た地元磐中、平商兩軍は昨二十日で練習を打ち切り晴の日に備ふるべく英氣を養つてゐる。野球部は福島球場に――庭球部は安達中コート――その胸に描く晴の檜舞臺に若人の心は躍つてゐるのだ！

（六）鈴木 志賀 友部 （正）

### 野球部

磐中軍は山本部長 平商軍は宮澤部長の引率で明二十二日午前八時三十分の磐越線で壯途につくが陣容左の如く兩軍主將共『こんどこそは……』の闘志に燃えてゐる、宿舍は磐中軍金源旅館、平商軍は福島ホテルである

| | 投 | 捕 | 一 | 二 | 三 | 遊 | 左 | 中 | 右 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平商 | 橋本 | 渡邊 | 矢吹 | 武藤 | 大塚 | 千葉 | 吉田 | 森下 | 間宮 |
| 磐中 | 鈴木 | 水野 | 矢野 | 蟹田 | 石橋 | 矢代 | 遠藤 | 吉田 | 根本 |

### 庭球部

野球部より一と足お先きに午前六時十二分發、引率は磐中新谷、平商室原兩部長、そのメンバーは

磐中―根本 柴崎 關原
樋口 石田 佐藤
平商―北島 歌川 友部

。。。。。。小學教員体操講習 磐崎村の小學教員体操講習會を二十一日午前十時から同村第一校庭に開催、講師は平第一校鈴木武雄訓導

# 志賀兄弟献金

## けふ市役所へ

市內五丁目志賀與三郎さんから二十一日市役所へ―甚だ些少ですが、家內中一人殘らず躁つて私に差出したものです、國防費の一部に當てゝ下さいと云ふやうな意味の手紙に添へて金十圓二十錢を寄託尙同家の令息照明、宣夫の兩君は小遣錢を節約して八圓七十九錢を醵出、これ亦市役所へ

# 出身兵に署中見舞

市役所では平市出身の在滿其他の現役兵に二十日激勵を加味した署中見舞狀、尙過般來寄託された慰問金品を發送した

。。。。。。中堅農民現地講習 石城中堅農民講習生一同は二十五日午前九時から柴田技手の引率により小名濱町で現地講習、試驗場、測候所、魚肥製造所を見學

# 學校爆破男に懲役七年求刑

## 言渡しは廿七日

入山小學校爆破犯人―赤井村西小川福島炭礦採炭夫賀川貞治（四七）にかゝる公判は普通裁判として二十日福島地方廷に開廷、大島檢事から懲役七年を求刑された言渡しは二十七日

# 賭博六人男

## けふ身柄送檢

川前村中當石工齋藤久美（四〇）同村桶賣農大越元治（四〇）同村松本仁四郎（四五）同村中當雜貨商安藤和太郎（四三）同矢野勉（三六）田村郡瀧根村農山田孝（三九）の六名は去る四月來前後十數回に亘つて齋藤方で現金賭博開張、去る十一日夜も同人ら外十數名が車座となつて開張してゐるのを小野新町署員に踏み込まれ、前記六名は捕はれたが他は逸早く姿を晦ましたので新町署で行方嚴探中六名は今二十一日平檢事局に送局された

# 玉川國婦會員献金

玉川村島國防婦人會小泉トリ子さん外十四名は細造りで蓄へた金五圓を二十日東日平通信部に寄託

# 牛ドン廢止

## 市役所で實施

平市役所では毎年七月二十一日から八月三十一日迄は牛どんであつたが昨今の時局に鑑み今年は特に午後三時迄とすることゝなりけふから實施した午前八時昇廳、但し土曜日は半ドンである

。。慰問袋。。 市內二丁目長島泰子さんは心をこめた慰問袋

# 强盜未遂に二年半

## 武二郎にけふ判決

既報、山路で小娘を突倒し金を强奪せんとして懲役三年を求刑された好間村下好間無職渡邊武二郎（三〇）に係る公判は二十一日平支部で開廷、中島裁判長から懲役二年六ケ月を言渡された

# 五年計畫の大增産に 洋々たる炭界の前途

## 地方の被る恩惠絶大

躍る黑ダイヤが踏む輕快なステップ―排水完成に因る住吉綴兩坑の作業復歸、第二磐炭の操業伸展等磐炭今後の躍進をはじめ、入山古河の新規諸計劃等需要の將來に處する各社の陣容は今や遺憾無き迄に整備されてゐるが之の方面の統制機關たる石炭聯合會では一昨十九日の協議會に於て、商工省の增産計劃に關す諮問の答申案として本年度の送炭豫定數量に對し

| | |
|---|---|
| 十二年 | 三一、八〇〇千瓲 |
| 十三年 | 三五、六〇〇 |
| 十四年 | 三九、〇〇〇 |
| 十五年 | 四一、七〇〇 |
| 十六年 | 四四、二〇〇 |

の實行案を樹て之を遂行する爲の人的要素として技術員、事務員、坑夫の全面に亘り漸次之を增加し十六年度末迄には現在より約八割に近き增員を行ふ計劃を立てたが之の波動は當然常磐地方にも及ぶ筈であり、彼此炭界の前途は蓋し頗る洋々たるものゝある事、寸毫の疑を挿む餘地が無く、因て被る地方の恩惠絶大なるを豫想さるゝに至つた

# 電話至急讓受度

平市胡摩澤六人町（隔離病舍附近）
石躍（イシ オドリ）

# 職業紹介所便り

## 滿鐵從業員募集

### 來月二日採用試驗

平職業紹介所では目下滿鐵從業員の募集に當つてゐる 採用條件は十八才以上二十五才未滿の獨身者で高小卒及中等學校卒以上のもの 詳細は同所に問ひ合せの上來る二十五日迄申込まれたく、來月二日郡山市公會堂で採用試驗が行はれる 提出書類は志願書、履歷書、學業成績表（中等學校卒業者は各年別成績表添付）寫眞

## 電工、教師、工員（人絹工場から）

營業擴張の昭和人絹錦工場では次のやうな求人を同所に申込んでゐる
△發電所工員 ボイラー方面に當てる五名、四十歲以下の海軍機關兵出身者に限り一等機關兵曹は日給一圓五十錢、三等同一圓三十五錢、一等機關兵一圓二十錢
△電工 內外線架設の十名一圓以上
△靑年學校教師 敎員免狀所有者で男女各一名、男一圓六十錢、女一圓三十錢、男女從業員のため今回新に設置されたもの

。。。。。。市役所吏員退職 平市役所書記松本新治郎、書記補古市隆則の兩氏は何れも此程病氣退職

# 庶民金庫執務改正

信用組合平庶民金庫では例年通り夏期中の執務時間を明二十二日より來月二十五日迄從來の午前九時より午後四時迄を午前八時半より午後二時迄に臨時變更すると

# 善方氏にまた罰金

既報、選擧違反で略式罰金二十圓に處されて正式裁判を申立てた小名濱竹町善方長作（五〇）氏の公判は二十一日平區野木判事係りで開廷、石合檢事から略式命令通り罰金二十圓の求刑に對し即決求刑通りの判決

# モグリ周旋に罰金

好間村北好間飲食店鈴木源太郎（五〇）は二十一日平區から營利職業紹介違反で略式罰金十圓に處された

同人は無免許で昨年五月から前後十數回に亘つて同村寺門コン（一七）外二十餘名を桐生方面に世話したもの

# 大金盜まる

二十一日平發午前十時四十分列車の出發を前に東京市內外交員某は待合室で現金五百七十一圓在中の折カバンを盜まれた、平署で犯人嚴探中

。。。。蔬菜講習會 玉川村農會主催で近く蔬菜講習會を小學校に開く、講師は神谷農試分場矢ケ崎技手

。。。。。材木町靑年淸遊 市內材木町靑年團では二十五日の日曜日、新舞子淸遊家族慰安會を催し、餘興に福引、寶探し

二十二日（小名濱測候所發表）
滿潮 前一二、二〇 後五、一五
干潮 前一〇、〇〇 後一〇、〇〇

舊六月十五日 木曜 庚戌 友引 平 角宿 新七月二十二日

諸判定所 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠舘

▲一白 遲々として萬事はかどらず力抜けの狀態なる日▲二黑 彌縫の策は却つて後日の憂を殘すに過ぎず凶▲三碧 平靜なりし波も突風の爲大ならんとする日▲四綠 他意を尊重して我意を行はざるに宜しき日▲五黃 諸事成行に任せて無理のさく動をせぬが安全▲六白 運勢盛にして家道大に發揚するも輕動は凶▲七赤 糸を繰り出す如く共から共と伸長すべき日▲八白 實直に奮げふた守り他に心を移さざれば安全▲九紫 常に衆人よりの同情深ければ希望も滿さる


廣告

# 第卅五期營業報告

昭和拾貳年六月參拾日現在 貸借對照表

| 資產 | |
|---|---|
| 未拂込資本金 | 三、七五〇、〇〇〇、〇〇 |
| 營業設備 | 五三、六六六、二八 |
| 發電及變電設備 | 一、七四〇、一三三、三八 |
| 送電及配電設備 | 四四一、一一四、四五 |
| 需要者屋內設備 | 九七、五七九、七五 |
| 建設工事假勘定 | 六、三三九、七三 |
| 貯藏品及假拂金 | 二四、七六九、四一 |
| 受取手形及諸未收入金 | 八九、〇三一、二八 |
| 有價證券 | 二六、七二四、二七 |
| 預ケ金 | 一九九、〇四一、六三 |
| 現金 | 七、六三八、一五 |
| 化學工業部 | 三一、三〇九、四〇 |
| 合計 | 六、五三一、三四七、七一 |
| 負債 | |
| 資本金 | 五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇 |
| 諸積立金 | 一九八、八〇一、〇〇 |
| 借入金 | 一、一六三、九七七、三九 |
| 諸未拂金 | 六一、一九四、一一 |
| 諸預リ金 | 三三、一八三、一九 |
| 前期繰越及當期利益金 | 八四、一九二、〇二 |
| 合計 | 六、五三一、三四七、七一 |

右之通リニ候也
昭和十二年六月三十日
植田水力電氣株式會社

平市田町 井坂產科婦人科醫院 電話五五九番

簡易ノ金融 無盡 磐城 蓄貯ノ趣味 町各內縣所張出

平市田町 安齋外科醫院 電四七五番

平市新川町 北川外科 電四六四

平市新川町 木村病院 電話一六七番

◇御新盆の戒名入提灯！
御注文は是非價格低廉の！
スガノヤ提灯店へ 平四 電九五番
お早いお方には特にサービス致します
……特製スソ模樣入レモ出來マス

吉例土用丑 牛肉大賣出し
二十五日土用丑
滋養、味覺 豊富な牛肉を
平市田町 三二三屋 電話三二三番

職員募集
一、人事係 內勤一名 外勤一名
一、廿歲ヨリ卅五歲位迄体强、想健活動的人物ヲ求ム
一、給料卅圓以上
一、履歷書提出ノ事（特技附記ノ事）
福島縣石城郡赤井村（小川郷驛）
福島炭礦 電話西小川局呼出